

Aptima® Multitest スwabは、Aptima® SARS-CoV-2 アッセイを用いた鼻腔検体採取に使用できます。SwabをVTM、UTM、STM、生理食塩水、液体アミーズに保存することもできます。

Aptima® Multitest スwab 検体採取セット 採取手順ガイド～患者自身による採取方法～*

Aptima® SARS-CoV-2 アッセイ用鼻腔検体採取方法



開始する前に手を洗い、使い捨て手袋を含む適切な保護具を装着ください。この手順についてご不明な点がある場合は、医師または看護師など医療提供者にお尋ねください。

Swabのパッケージを開き、取り出します。Swabの柔らかい先端に触れたり、下に置いたりしないでください。柔らかい先端に触れたり、下に置いたり、落とした場合は廃棄して新しいAptima® Multitest Swab 検体採取セットをご使用ください。

Swabの柄の部分の真ん中の黒いスコアラインの上に親指と人差し指を置いて、Swabを持ちます。Swabの柄のスコアラインより下を持たないでください。

【注意】Aptima® Multitest Swabでは鼻咽頭検体の採取はできません。

抵抗を感じるまで、片方の鼻の穴にSwabを慎重に挿入します（※挿入するのは2.5センチまで）。鼻の内側にあてながらSwabを数回回転させ、鼻から取り出します。

同じSwabを同様にもう片方の鼻に慎重に挿入します（※挿入するのは2.5センチまで）。鼻の内側にあてながらSwabを数回回転させ、鼻から取り出します。

Swabを手を持ったまま、チューブのキャップを外します。チューブの内容物をこぼさないでください。チューブの内容物がこぼれた場合は、廃棄して新しいAptima® Multitest Swab 検体採取セットをご使用ください。

直ちにSwabを検体搬送チューブに入れ、黒いスコアラインをチューブの最上部に合わせます。スコアラインをチューブの上端に合わせ、柄を慎重に折ります。

Swabの柄の上部を廃棄します。キャップをしっかり回して蓋をし、医療提供者の指示通りにチューブを返却します。

検体搬送チューブ内の検体は、2°Cから30°Cで最大6日間保管できます。

【注意】 受検者が自ら検体を採取する場合、病院で必ず医師による指示を確認してください。

* Hologicは、この採取手順ガイドを一般的な情報としてのみ提供しており、記載した手順を指示すること目的としておらず、手順に依った場合の安全性・性能を保証するものでもありません。施用または施用を指示する医師は、製品の添付文書を読んで理解し、適用される地方及び国の規則や規制を遵守することに単独で責任を負います。

DS-10006-001_JP Rev. 001 © 2020 Hologic Japan, Inc. All rights reserved. Hologic, Aptimaおよび関連するロゴは、Hologic, Inc.と米国やその他の国々の子会社の商標または登録商標です。本書に記載の情報は医療専門家を対象としており、購入勧誘やプロモーションが禁止されている場所でそのような活動することを意図したものではありません。各国で販売されている製品についての具体的な情報は、ホロジックジャパン代理店または以下のアドレスまでお問い合わせください。

ホロジックジャパン株式会社

〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-25 日教販ビル
TEL:03-5804-2340 FAX:03-5804-2321
<https://hologic.co.jp>



届出番号：13B1X10179002006